

特別企画：国内主要 112 行の預金・貸出金等実態調査

貸出金増加率、前年比 1.2%に縮小

～ 預金・貸出金ともに増加率トップは「九州」 ～

はじめに

2017 年は金融庁がはじめて地方銀行の運用部門への検査に乗り出すなど、新たな視点で経営をチェックする動きがみられたほか、再編の動きに目を向けると、近時だけでも 4 月には大阪・兵庫の 3 行が経営統合（関西みらいフィナンシャルグループ）、5 月には都内 3 行の合併により「きらぼし銀行」が誕生するなど、銀行の経営環境、経営状況が引き続き注目されている。

帝国データバンクは、国内主要 112 行（大手銀行 7 行、地方銀行 64 行、第二地方銀行 41 行）の 2018 年 3 月末および 2017 年 3 月末の預金、貸出金の残高および 2018 年 3 月期、2017 年 3 月期の預金利息（支出）、貸出金利息（収入）の推移について調査・分析した。

※ 大手銀行 7 行＝三菱東京 UFJ 銀行（2018 年 4 月 1 日に三菱 UFJ 銀行に商号変更）、みずほ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行、新生銀行、あおぞら銀行

※ 各数値は各行の決算短信（単体ベース）に記載されている数値（単位：百万円）を採用

※ きらぼし銀行は 2018 年 5 月 1 日に東京都民銀行（地銀）、八千代銀行（第二地銀）、新銀行東京の 3 行合併により誕生しているため、今回の調査では東京都民銀行、八千代銀行のそれぞれの数値を計上

調査結果

- 2018 年 3 月末の国内主要 112 行の預金は 743 兆 7824 億 8800 万円となり、2017 年 3 月末比で 24 兆 6647 億円増加(3.4%増)。大手銀行、地方銀行、第二地方銀行の 3 業態すべてで増加し、112 行中 96 行(構成比 85.7%)で増加
- 112 行の貸出金は 511 兆 3156 億 2000 万円となり、2017 年 3 月末比で 6 兆 1486 億 3300 万円増加(1.2%増)。112 行中 102 行(構成比 91.1%)で増加
- 2018 年 3 月期の 112 行の収支＜貸出金利息(収入)－預金利息(支出)＝本業利ざや＞は、5 兆 5469 億 6400 万円となり、2017 年 3 月期比で 331 億 8800 万円減少(0.6%減)。3 業態すべてで減少し、112 行中 80 行(構成比 71.4%)で減少
- 地方銀行、第二地方銀行の計 105 行を対象とした地域別動向では、預金、貸出金ともに 9 地域すべてで増加。預金、貸出金ともに「九州」の増加率がトップ

1. 預金動向 ～112 行中 96 行で増加、24 兆 6647 億円増～

2018 年 3 月末の国内主要 112 行の預金は、743 兆 7824 億 8800 万円となり、2017 年 3 月末比で 24 兆 6647 億円増加（3.4%増）。大手銀行（4.0%増）、地方銀行（3.0%増）、第二地方銀行（1.6%増）の 3 業態すべてで増加した（5 ページ参照）。

業態別に増減の内訳をみると、大手銀行（増加 7 行、減少 0 行）、地方銀行（増加 60 行、減少 4 行）、第二地方銀行（増加 29 行、減少 12 行）となり、112 行中 96 行（構成比 85.7%）で増加した。

また、112 行が 2018 年 3 月期（1 年間）に預金者へ支払った預金利息は、9099 億 3200 万円となり、2017 年 3 月期比で 2450 億 7100 万円増加（36.9%増）。大手銀行（50.1%増）で大幅に増加した一方、地方銀行（9.5%減）、第二地方銀行（19.7%減）で減少した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行（増加 6 行、減少 1 行）、地方銀行（増加 15 行、減少 49 行）、第二地方銀行（増加 1 行、減少 40 行）となり、112 行中 90 行（構成比 80.4%）で減少した。

96 行（構成比 85.7%）で預金が増加したものの、低金利などの影響で 90 行（同 80.4%）で預金利息が減少した。

預金増減内訳

	増 加		減 少		合 計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	7	100.0%	0	0.0%	7	100%
地方銀行	60	93.8%	4	6.3%	64	100%
第二地方銀行	29	70.7%	12	29.3%	41	100%
合 計	96	85.7%	16	14.3%	112	100%

預金利息増減内訳

	増 加		減 少		合 計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	6	85.7%	1	14.3%	7	100%
地方銀行	15	23.4%	49	76.6%	64	100%
第二地方銀行	1	2.4%	40	97.6%	41	100%
合 計	22	19.6%	90	80.4%	112	100%

2. 貸出金動向 ～112 行中 102 行で増加、6 兆 1486 億円増～

2018 年 3 月末の 112 行の**貸出金**は、511 兆 3156 億 2000 万円となり、2017 年 3 月末比で 6 兆 1486 億 3300 万円増加（1.2%増）。大手銀行（1.3%減）で減少した一方、地方銀行（4.1%増）、第二地方銀行（3.1%増）で増加した（5 ページ参照）。

業態別の増減の内訳は、大手銀行（増加 4 行、減少 3 行）、地方銀行（増加 58 行、減少 6 行）、第二地方銀行（増加 40 行、減少 1 行）となり、112 行中 102 行（構成比 91.1%）で増加した。

また、112 行が 2018 年 3 月期（1 年間）に融資先から受け取った**貸出金利息**は、6 兆 4568 億 9600 万円となり、2017 年 3 月期比で 2118 億 8300 万円増加（3.4%増）。大手銀行（7.7%増）で増加した一方、地方銀行（0.9%減）、第二地方銀行（3.1%減）で減少した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行（増加 5 行、減少 2 行）、地方銀行（増加 16 行、減少 48 行）、第二地方銀行（増加 5 行、減少 36 行）となり、112 行中 86 行（構成比 76.8%）で減少となった。

低金利の影響などから、102 行で貸出金が増加したものの 86 行で貸出金利息が減少する結果となった。貸出金利息が減少した銀行は、大手銀行（構成比 28.6%）と比較して、地方銀行（同 75.0%）、第二地方銀行（同 87.8%）で非常に多くなっている。

貸出金増減内訳

	増 加		減 少		合 計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	4	57.1%	3	42.9%	7	100%
地方銀行	58	90.6%	6	9.4%	64	100%
第二地方銀行	40	97.6%	1	2.4%	41	100%
合 計	102	91.1%	10	8.9%	112	100%

貸出金利息増減内訳

	増 加		減 少		合 計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	5	71.4%	2	28.6%	7	100%
地方銀行	16	25.0%	48	75.0%	64	100%
第二地方銀行	5	12.2%	36	87.8%	41	100%
合 計	26	23.2%	86	76.8%	112	100%

～貸出金の増加率が大きく鈍化、1.2%にまで縮小～

2014 年 3 月末から 2018 年 3 月末までの 112 行の預金、貸出金の増減率推移（3 月末の前年比）をみると、預金は 2017 年に 6.0%の伸びをみせたが、2018 年は 3.4%と 2016 年と同水準になった。

一方、貸出金は 2014 年、2015 年と増加率 4%台で推移していたが、2016 年、2017 年に 2%台、2018 年は 1.2%にまでダウン。預金の増加率に比例した貸出金の増加が難しい状況が続いている。地方銀行（4.1%増）、第二地方銀行（3.1%増）の貸出金は増加したものの、大手銀行の減少＜3 兆 3406 億 4200 万円減少（1.3%減）＞の影響が大きい。

	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末
預 金	628,794,355	658,232,488	678,608,339	719,117,788	743,782,488
前年比増減	4.1%	4.7%	3.1%	6.0%	3.4%
貸出金	459,777,675	481,053,753	493,629,863	505,166,987	511,315,620
前年比増減	4.3%	4.6%	2.6%	2.3%	1.2%

単位：百万円

3. 利ざや動向 ～112 行中 80 行で減少～

2018 年 3 月期の 112 行の収支＜貸出金利息（収入）－預金利息（支出）の差額＝**本業利ざや**＞は、5 兆 5469 億 6400 万円となり、2017 年 3 月期比で 331 億 8800 万円減少（0.6%減）。大手銀行（0.3%減）、地方銀行（0.5%減）、第二地方銀行（2.1%減）の 3 業態すべてで減少した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行（増加 3 行、減少 4 行）、地方銀行（増加 22 行、減少 42 行）、第二地方銀行（増加 7 行、減少 34 行）となり、112 行中 80 行（構成比 71.4%）で減少した。

利ざや増減内訳

	増 加		減 少		合 計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	3	42.9%	4	57.1%	7	100%
地方銀行	22	34.4%	42	65.6%	64	100%
第二地方銀行	7	17.1%	34	82.9%	41	100%
合 計	32	28.6%	80	71.4%	112	100%

		2017年3月末	2018年3月末	2017年3月末比 増減額・増減比(%)	
主要112行	預金	719,117,788	743,782,488	24,664,700	3.4
	預金利息	664,861	909,932	245,071	36.9
	貸出金	505,166,987	511,315,620	6,148,633	1.2
	貸出金利息	6,245,013	6,456,896	211,883	3.4
	貸出金利息－預金利息	5,580,152	5,546,964	▲ 33,188	▲ 0.6
	預金	398,386,017	414,393,954	16,007,937	4.0
	預金利息	523,782	786,227	262,445	50.1
	貸出金	261,257,291	257,916,649	▲ 3,340,642	▲ 1.3
	貸出金利息	3,293,873	3,547,892	254,019	7.7
	貸出金利息－預金利息	2,770,091	2,761,665	▲ 8,426	▲ 0.3
	預金	254,944,105	262,557,681	7,613,576	3.0
	預金利息	102,336	92,588	▲ 9,748	▲ 9.5
	貸出金	193,109,073	201,014,609	7,905,536	4.1
	貸出金利息	2,262,004	2,241,050	▲ 20,954	▲ 0.9
	貸出金利息－預金利息	2,159,668	2,148,462	▲ 11,206	▲ 0.5
	預金	65,787,666	66,830,853	1,043,187	1.6
	預金利息	38,743	31,117	▲ 7,626	▲ 19.7
	貸出金	50,800,623	52,384,362	1,583,739	3.1
	貸出金利息	689,136	667,954	▲ 21,182	▲ 3.1
	貸出金利息－預金利息	650,393	636,837	▲ 13,556	▲ 2.1

単位：百万円

4. 地域別動向 ～預金、貸出金ともに増加率トップは「九州」～

地方銀行、第二地方銀行の計 105 行について、本店所在地（都道府県別）の地域別（9 地域）にみると、2018 年 3 月末の預金、貸出金ともに、2017 年 3 月末比で 9 地域すべてで増加した。

預金の増加率が高かったのは「九州」（4.4%増）、「北陸」（4.0%増）など。貸出金の増加率が高かったのは「九州」（5.7%増）、「中国」（5.1%増）などで、預金、貸出金ともに「九州」の増加率がトップとなった。

また、2018 年 3 月期の預金利息は、2017 年 3 月期比で「関東」「中国」を除く 7 地域で減少。貸出金利息は、「中国」を除く 8 地域で減少し、利ざやは「中部」「中国」「九州」の 3 地域で増加した。

		2017年3月末	2018年3月末	2017年3月末比 増減額・増減比(%)	
地銀 第二地銀 (105行)	預 金	320,731,771	329,388,534	8,656,763	2.7
	預金利息	141,079	123,705	▲ 17,374	▲ 12.3
	貸出金	243,909,696	253,398,971	9,489,275	3.9
	貸出金利息	2,951,140	2,909,004	▲ 42,136	▲ 1.4
	貸出金利息－預金利息	2,810,061	2,785,299	▲ 24,762	▲ 0.9
北海道 (2行)	預 金	12,573,809	12,999,805	425,996	3.4
	預金利息	1,142	931	▲ 211	▲ 18.5
	貸出金	9,429,624	9,828,639	399,015	4.2
	貸出金利息	107,854	105,698	▲ 2,156	▲ 2.0
	貸出金利息－預金利息	106,712	104,767	▲ 1,945	▲ 1.8
東 北 (15行)	預 金	32,652,328	33,019,169	366,841	1.1
	預金利息	11,262	8,642	▲ 2,620	▲ 23.3
	貸出金	21,758,265	22,276,175	517,910	2.4
	貸出金利息	242,059	237,833	▲ 4,226	▲ 1.7
	貸出金利息－預金利息	230,797	229,191	▲ 1,606	▲ 0.7
関 東 (16行)	預 金	70,891,827	72,824,482	1,932,655	2.7
	預金利息	25,325	25,657	332	1.3
	貸出金	55,899,046	57,890,119	1,991,073	3.6
	貸出金利息	669,083	655,103	▲ 13,980	▲ 2.1
	貸出金利息－預金利息	643,758	629,446	▲ 14,312	▲ 2.2
北 陸 (9行)	預金	21,550,330	22,419,761	869,431	4.0
	預金利息	5,685	4,742	▲ 943	▲ 16.6
	貸出金	15,504,057	16,133,001	628,944	4.1
	貸出金利息	172,464	165,377	▲ 7,087	▲ 4.1
	貸出金利息－預金利息	166,779	160,635	▲ 6,144	▲ 3.7
中 部 (16行)	預 金	55,932,168	57,214,724	1,282,556	2.3
	預金利息	30,862	25,173	▲ 5,689	▲ 18.4
	貸出金	42,195,639	43,662,133	1,466,494	3.5
	貸出金利息	541,017	538,457	▲ 2,560	▲ 0.5
	貸出金利息－預金利息	510,155	513,284	3,129	0.6
近 畿 (9行)	預 金	31,863,327	32,518,575	655,248	2.1
	預金利息	17,364	14,038	▲ 3,326	▲ 19.2
	貸出金	24,844,419	25,490,433	646,014	2.6
	貸出金利息	289,333	277,024	▲ 12,309	▲ 4.3
	貸出金利息－預金利息	271,969	262,986	▲ 8,983	▲ 3.3
中 国 (9行)	預 金	28,425,026	29,144,675	719,649	2.5
	預金利息	19,288	19,431	143	0.7
	貸出金	21,594,984	22,705,519	1,110,535	5.1
	貸出金利息	245,137	248,039	2,902	1.2
	貸出金利息－預金利息	225,849	228,608	2,759	1.2
四 国 (8行)	預 金	19,860,527	20,191,872	331,345	1.7
	預金利息	11,008	9,535	▲ 1,473	▲ 13.4
	貸出金	14,682,531	15,255,427	572,896	3.9
	貸出金利息	194,802	192,618	▲ 2,184	▲ 1.1
	貸出金利息－預金利息	183,794	183,083	▲ 711	▲ 0.4
九 州 (21行)	預 金	46,982,429	49,055,471	2,073,042	4.4
	預金利息	19,143	15,556	▲ 3,587	▲ 18.7
	貸出金	38,001,131	40,157,525	2,156,394	5.7
	貸出金利息	489,391	488,855	▲ 536	▲ 0.1
	貸出金利息－預金利息	470,248	473,299	3,051	0.6

単位: 百万円

まとめ 収益問題をどのように克服し、改善していくか

国内主要 112 行の 2018 年 3 月末の預金は 2017 年 3 月末比で 3.4%増、貸出金は 1.2%増となった。112 行の貸出金の前年比の増加率は、2014 年、2015 年と 4%台で推移していたが、2016 年は 2.6%にダウン。低金利環境にありながら、2018 年はさらに 1.2%にまで落ち込んだ。地銀（4.1%増）、第二地銀（3.1%増）の貸出金は増加したものの、大手銀行（1.3%減）の減少が大きかった。

しかし、地銀においては、2017 年秋以降、投資用不動産業者向けローンが社会問題化しており、今後は銀行業界全体が同業界、関連業界に対する融資に慎重になるとともに、他の融資においても手続き、審査などがこれまで以上に厳格になることも予想され、収益確保がより難しい環境に置かれる可能性がある。こうした問題をどのように克服し、地方銀行、第二地方銀行を中心とした金融機関が収益確保、再編の道筋をつけていくのか、注目される。

【 内容に関する問い合わせ先 】

（株）帝国データバンク 東京支社 情報部 阿部・綴木

TEL 03-5919-9341 FAX 03-5919-9348

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。